

◎下の文章を読んで、問いに答えましょう。



防災

日本は地震や台風など自然災害が多い国です。そのため、日ごろから防災への備えが欠かせません。防災とは、災害に備えて命を守るための行動や準備を指します。例えば、懐中電灯や水、食料を家庭に備えておくことは基本的な防災行動です。

- (1) 日本に多い自然災害にはどんなものがありますか。
- (2) 防災とは何のための行動や準備ですか。
- (3) 家庭に備えておくべき基本的なものは何ですか。

非常用持ち出し袋

災害が起きたときにすぐに避難できるよう、非常用持ち出し袋を準備しておくことが大切です。中には、水や食料、懐中電灯、ラジオ、常備薬などを入れておきます。消防庁の調査では、非常用持ち出し袋を準備している家庭は全体の約4割にとどまっています。

- (1) 非常用持ち出し袋を準備するのは何のためですか。
- (2) 袋の中に入れておくべきものにはどんなものがありますか。
- (3) 調査によると非常用持ち出し袋を準備している家庭は全体の何割ですか。

◎下の文章を読んで、問いに答えましょう。



避難経路

災害時に安全に避難するためには、避難場所や避難経路を事前に確認しておくことが必要です。特に夜間や停電時には、普段通りの道が危険になる場合があります。家族で避難経路を共有し、実際に歩いて確認しておくで安心です。

- (1) 避難時に事前に確認しておくべきものは何ですか。
- (2) 夜間や停電時には普段の道がどうなる可能性がありますか。
- (3) 家族で避難経路をどのようにすると安心ですか。

災害と情報収集

災害時には正しい情報を得ることが命を守る行動につながります。テレビやラジオ、スマートフォンの防災アプリなどで最新情報を確認しましょう。総務省の調査では、災害時にスマートフォンで情報を得た人は全体の約7割にのぼりました。複数の手段を用意しておくで安心です。

- (1) 災害時に正しい情報を得ることは何につながりますか。
- (2) 災害時に情報を得る方法にはどんなものがありますか。
- (3) 調査でスマートフォンで情報を得た人は全体の何割でしたか。

◎下の文章を読んで、問いに答えましょう。



家庭での防災準備

防災は家庭ごとに工夫が必要です。家具の固定をしたり、ガラスに飛散防止フィルムを貼ったりすることで、けがのリスクを減らせます。また、1人1日あたり3リットルの水を、最低3日分備蓄することが推奨されています。家庭の事情に合わせた備えが大切です。

(1) 家庭でけがのリスクを減らす工夫にはどんなものがありますか。

(2) 水は1人1日あたり何リットル備蓄するのが推奨されていますか。

(3) 水は最低何日分備蓄するのがよいとされていますか。

防災と地域のつながり

防災は家庭だけでなく、地域で協力することも大切です。災害時には近所の人と助け合うことで、避難や安否確認がスムーズに行えます。内閣府の調査では、地域の防災訓練に参加した人は、参加していない人に比べて避難行動が早かったと報告されています。地域活動に参加することは防災力を高めることにつながります。

(1) 防災は家庭だけでなく、どのような場で協力することが大切ですか。

(2) 近所の人と助け合うことで何がスムーズに行えますか。

(3) 防災訓練に参加した人はどのような行動が早かったとされていますか。